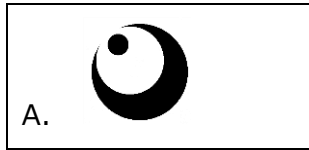


千葉氏クイズ 回答

Q1 千葉一族の家紋として使われているのは次のうちどれか。



【正解】A（正解率：100%）

この家紋は「月星紋」と呼ばれ、三日月と星をあしらっています。千葉一族の家紋にはこの他にも星の周りに星八つを置いた「九曜紋」や星が九つある「十曜紋」などがあります。



Q2 治承 4 年（1180）、伊豆で平清盛の率いる平氏政権に対して拳兵し、石橋山の合戦に敗れて安房に逃れたのち、千葉常胤に加勢を要請したのは、次のうち誰か。

A. 源頼朝

B. 豊臣秀吉

C. 徳川家康

【正解】A. 源頼朝（正解率：97%）

千葉常胤は桓武平氏の血筋ですが、当時の情勢をふまえ、血縁関係のある平氏よりも「御恩と奉公」の関係で結ばれた源氏を助け、鎌倉幕府の成立に大きく貢献しました。

Q3 千葉一族が厚く信仰をしていた妙見菩薩は、ある天体を神格化しているが、それは次のうちどれか。

A. 太陽

B. 北極星

C. 彗星

【正解】B. 北極星（正解率：97%）

妙見菩薩の起源は、中央アジアの遊牧民の北極星信仰と言われ、中国で道教や仏教を取り込み日本に伝わりました。千葉一族は妙見を厚く信仰したため、一族が移住するときには必ず妙見を伴ったので、かつて千葉氏の領地であった地域には今も妙見を祭った神社が多く見られます。

Q4 永禄 9 年（1566）に千葉一族・原胤貞の居城・臼井城（千葉県佐倉市）を 1 万 5 千の大軍で包囲し合戦となるも、落城できず撤退した戦国大名は誰か。

A. 上杉謙信

B. 武田信玄

C. 今川義元

【正解】A. 上杉謙信（正解率：97%）

永禄 7 年（1564）、第二次国府台合戦で、北条氏康との戦いに大敗し窮地に陥った里見氏は、越後国の上杉謙信に助けを求めました。謙信はこれに応じ、永禄 9 年（1566）に房総の北条方の中心人物であった原胤貞の居城を攻めましたが、北条氏の援軍を得た原氏・千葉氏に敗退しました。

Q5 蒙古（モンゴル）は北九州に襲来したが（元寇）、千葉氏も頼胤・宗胤父子が九州で防備に当たった。その際に宗胤が守護を務めていた国は、次のうちどこか。

A. ちくぜんのかくに 筑前国

B. ひぜんのかくに 肥前国

C. おおすみのかくに 大隅国

【正解】C. 大隅国（正解率：43%）

肥前千葉氏の祖として知られる宗胤ですが、大隅国（現在の鹿児島県東部）の守護を務めていました。

Q6 関東に戦国時代の到来を告げた享徳の乱で、千葉宗家を救援するために京都の幕府から派遣された東常縁は歌人であり、『古今集』の秘伝を弟子に伝えた（古今伝授）。この弟子は次のうち誰か。

A. 宗祇

B. 兼好

C. 西行

【正解】A. 宗祇（正解率：93%）

『古今和歌集』の秘伝を師から弟子へと他人には漏らさないことを誓って授受したのが「古今伝授」です。平安時代後期に始まったとされますが、文明 3 年（1471）東常縁が宗祇に伝えたのがその確立とされています。